

PARKER

ESTATE

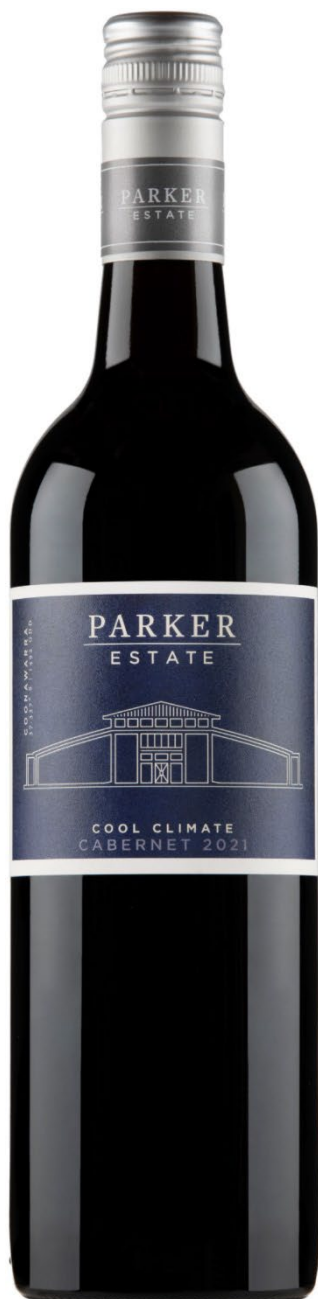
Parker Estate(パーカーエステイト)

ワイナリー紹介

[オーナー：ハスケスファミリー]

[ワインメーカー：フィル・レーマン]

1985年、ジョン&フェイパーカーが設立。クナワラという産地に生涯最大の関心を持った彼らは、長年の友人であり、クナワラのパロンという名誉ある称号を持つダグ・バルネイブス氏の協力と助言を得ながら、クナワラに細長く伸びるテラロッサ土壌から最高の場所を探し、その南端に土地を購入しました。そして1985年、1800年代後半にフィロキセラがフランス中の畑を壊滅させる前に調達されたボルドー原産のカベルネ・ソーヴィニヨンの挿し木を使い、最初の樹が植えられました。1988年、初めてリリースされた“ファーストグロース”は、ペンフォールドハイランドトロフィーの受賞や、1991年インターナショナルワインチャレンジでのボルドースタイルでの6位入賞を果たし、優れた品質を持つ長期熟成ワインの生産者として、その評価を確立する第一歩となりました。2001年に完成した熟成専用設備は温度管理が施され、その堂々とした姿はジョン・パーカーのブドウ栽培と醸造への妥協しない取り組みを表しています。2013年からオーナーとなったハスケスファミリーもジョン・パーカーのビジョンを引き継ぎ、テラロッサ土壌に徹底的な敬意を払うことを哲学としています。そして、この土地を守ることはワイナリーの成功に不可欠であり、彼らの役割はこのブランドを育て、可能な限り最高のワインを造り続けることだと信じています。



Coonawarra Series Cabernet Sauvignon 2021 (クナワラシリーズ カベルネ・ソーヴィニヨン)

産地	:南オーストラリア州 クナワラ
味わいタイプ	ミディアムボディ
ブドウ品種	:カベルネ・ソーヴィニヨン 100%
樽熟成	:12ヶ月(3年目のフレンチオーク樽)
アルコール度数	:14.0%
参考小売価格	:¥2,928(税別)

ワインの特徴

クナワラシリーズのカベルネ・ソーヴィニヨンは、比較的樹齢の若い樹のブドウから造られており、若いうちからお楽しみ頂ける親しみやすいワインです。2021 カベルネソーヴィニヨンは、クナワラ全体のいくつかの区画から供給された果物から造られています。大半はクナワラ南部から来ており、私たちのエステート「アビー」のブドウ園や、ブドウ栽培家のブレット・ウィリアムズのブドウ園からの区画も含まれています。ブレンドを完成させるのは、クナワラ北部にあるティムキッドマンの畑の果物です。

2021 ヴィンテージは、私の記憶の中で最高のヴィンテージの1つです。春の良い雨に続いて温暖な生育期が続き、素晴らしい風味と完璧な熟度を備えた非の打ちどころのない品質の果物が保証されました。一定量は酸素の取り込みと安定性、色やタンニン抽出のため10トンの開放式発酵槽を使い約10日間果皮とともに醸され、他方では豊かなアロマを引き出すため密閉式発酵槽も使用。発酵後はフレンチオークかステンレスタンクでマロラクティック発酵を行い、全体の約65%を3年目のフレンチオーク樽で12ヶ月間熟成しました。

味わい

紫の色調の深いルビーレッドの色合い。ダークフルーツ、ブルーベリー、ブラックカラントの豊かなアロマ。温かみのあるスパイスとダークチョコレートのアンダートーンを混ぜ合わせた、バニラの柔らかなヒント。チェリーやブラックベリーなどのダークフルーツ中心のミディアムボディの味わい。わずかな土っぽさとトースト感があり、柔らかく上質なタンニンとのバランスが取れている逸品です。

